

資料6 温室効果ガスの削減目標量の内訳

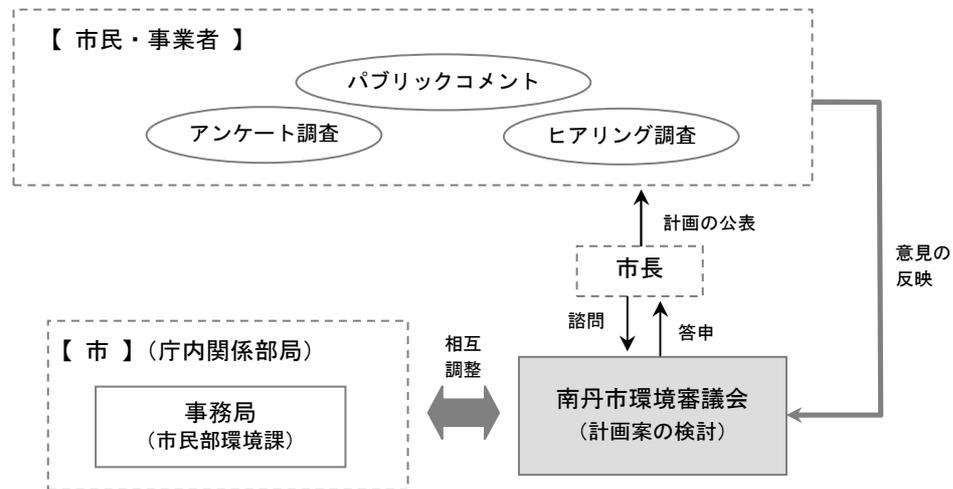
本計画の取り組みを推進することによる削減効果を見込んだ、削減目標量の部門別内訳は以下のとおりです。

産業部門		(削減目標量の見込み)
工場などでの省エネルギー対策		15,960 t-CO ₂
高効率熱源機や高性能ボイラーなど高効率機器の導入 環境マネジメントシステムの導入 事業者の自主行動による削減	など	
工場などへの新エネルギー導入		2,690 t-CO ₂
太陽光発電やコージェネレーションシステムの導入	など	
	計	18,650 t-CO ₂
民生業務部門		
オフィスや店舗での省エネルギー対策		7,660 t-CO ₂
高効率空調機器や高効率給湯器、LED照明など高効率機器の導入 環境マネジメントシステムの導入 事業者の自主行動による削減 行政の事務事業における削減	など	
オフィスや店舗への新エネルギー導入		380 t-CO ₂
太陽光発電や太陽熱温水器、ペレットストーブの導入	など	
	計	8,040 t-CO ₂
民生家庭部門		
家庭のできる省エネルギー対策		10,460 t-CO ₂
エコキュートやエコジョーズ、LED照明など高効率機器の導入 トップランナー基準の家電製品の導入 住宅の断熱化、省エネ住宅の普及 市民の自主行動による削減	など	
住宅への新エネルギー導入		2,500 t-CO ₂
太陽光発電や太陽熱温水器、ペレットストーブの導入	など	
	計	12,960 t-CO ₂
運輸部門		
交通面での省エネルギー対策		7,950 t-CO ₂
【乗用車】エコドライブの推進 【貨物車など】エコドライブの推進 カーセーブデーの実践 トラック輸送の効率化	など	
低炭素型の自動車導入		11,140 t-CO ₂
【乗用車】トップランナー基準車の普及 【貨物車など】トップランナー基準車の普及 【乗用車】クリーンエネルギー自動車の普及 【貨物車など】クリーンエネルギー自動車の普及	など	
	計	19,090 t-CO ₂
廃棄物部門および農業部門		
ごみの3Rと資源の地産地消推進		3,070 t-CO ₂
ごみの減量化推進 マイバッグ持参によるレジ袋削減推進 バイオマス資源の利活用推進	など	
	計	3,070 t-CO ₂
森林による吸収		
		65,000 t-CO ₂
	合計	126,810 t-CO₂

※ 廃棄物部門および農業部門には、バイオマス資源の利活用による効果も見込む

資料7 計画の策定体制と経緯

1 策定体制



2 南丹市環境審議会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

役職	氏名	所属等	備考
会長	中川重年	京都学園大学	
副会長	仲絹枝	南丹市議会	22年3月から
	井尻浩義	日吉町森林組合	
	出野正	南丹市立平屋小学校	22年3月まで
	川勝眞一	南丹市議会	22年2月まで
	岸上吉治	南丹市役所	22年6月まで
	高井豊	南丹市の環境を守り育てる会	22年5月まで
	高屋道子	南丹地区農業士会	
	滝野かつ子	京都農業協同組合	
	田中知美	美山せっけん友の会	
	谷尻孝子	南丹市商工会	
	原田克也	京都府南丹保健所	
	堀川勝久	南丹市立摩気小学校	22年4月から
	前田隆	船井郡衛生管理組合	
	松田清孝	南丹市役所	22年7月から
	松田茅里	美山町環境保全対策協議会	
	松本豊	NPO環境・エネルギー・農林業ネットワーク南丹支部	
	宮田洋二	京都府地球温暖化防止活動推進員	
	村田憲一	南丹市議会	22年2月まで
	用澤修	NPO森林・環境ネットワーク	
	山下澄雄	南丹市議会	22年3月から

■ ワーキンググループの構成

(五十音順、敬称略)

期間	ワーキンググループ	グループ員
平成22年6月～7月	環境教育	原田克也 堀川勝久 宮田洋二 用澤修
	身近な生活環境	田中知美 谷尻孝子 仲前絹枝 前田隆
	自然・農村環境	井尻浩義 高屋道子 滝野かつ子 中川重年 松田茅里 松本豊
	エネルギー	岸上吉治 (22年6月まで) 松田本孝 (22年7月から) 松田洋二 宮田澤修 用澤澄雄 山
平成22年12月～平成23年1月	地球温暖化対策	井中浩義 中川重年 宮田洋二 用澤修

3 計画策定の経緯

年月日	会議など	主な検討事項	
平成21年度	10月	アンケート調査	市民・中学生アンケート調査
	11月9日	第1回 環境審議会	環境基本計画の概要について 策定スケジュールについて 基礎調査について
	11～12月	ヒアリング調査	地域ヒアリング調査 (計4回) 事業者ヒアリング調査 (計21回) 関係者ヒアリング調査 (1回)
	2月	アンケート調査	大阪市民アンケート調査
	3月12日	第2回 環境審議会	基礎調査、アンケート調査の報告 環境における課題の整理 環境基本計画の体系について
平成22年度	5月11日	第3回 環境審議会	環境基本計画の基本的事項 (再) について 環境の現状と課題 (再) について 目指す環境像、基本目標について ワーキンググループについて
	6月30日	環境審議会 現地視察	南丹市内の状況視察
	6月～7月	ワーキンググループによる検討会議 (4グループに分かれて検討)	基本計画、重点プロジェクトの検討 (4グループ×各2回)
	10月18日	第4回 環境審議会	基本計画、重点プロジェクトについて 計画の推進体制について
	12月14日	第5回 環境審議会	計画素案 (たたき台) について 温室効果ガスの削減について
	12月～1月	ワーキンググループによる検討会議 (委員の中からグループ員を選出)	温室効果ガスの削減について検討 (計2回)
	2月15日	第6回 環境審議会	温室効果ガスの削減 (再) について 計画素案について
	2月～3月	パブリックコメント	素案について 意見の募集
3月29日	第7回 環境審議会	計画書について 最終確認	

資料8 地域資源の位置

本計画では、本市の自然、景観、歴史・文化などの地域資源について掲載しています。

(下図参照)

